

「急変時の取り組みについて」のアンケート調査（案）

1 目的

各専門職における急変時を想定した取り組みについて把握し、連携に活かす方法を模索するため。また、本人の意思を尊重した記録等（ACP等）が普及していない原因を把握し、対応を検討するため。

2 調査対象者

在宅医療・介護に関わる専門職

3 調査時期

令和7年11月～12月頃 調査票発送

令和8年1月頃 集計

4 調査方法

在宅医療・介護市内全事業所の職種別アンケート用紙(個人回答)をFAXにて送信

5 調査票の内容

(1) 基本情報

- ① 事業所名()
- ② 職種 (医師・歯科医師・看護師・理学療法士・作業療法士・介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員・その他 ())
- ③ 経験年数 () 年

～質問内容～

マニュアル

1. 急変時(※在宅療養者が急激に状態の悪化、救急を要するような状態)に対応するマニュアルはありますか。

ある・なし

2. ※1で「ある」と回答したかたにお尋ねします

どのようなマニュアルですか

()

本人の急変時の意思確認

1.急変時の対応について、事前に本人や家族に説明していますか。

はい・いいえ

2. 本人の急変時の対応について事前に確認していますか。

はい・いいえ(理由:)

※1. の回答が「はい」と回答したかたに2~3をお尋ねします。

3. どの時点で、本人の意思を確認していますか。

ア. 看取り前 イ. 病状説明時 ウ. 体調変化時 エ. 契約

4.本人の記録をどのように記録化していますか

ア. MCS イ. 担当者会議 ウ. 訪問時ノート エ. 人生ノート
オ. その他 ()

5.急変時に本人や家族とコミュニケーションで苦勞していることはありますか。

はい・いいえ

6.※5. で「はい」と回答したかたにお尋ねします。

具体的にどのようなことで困りましたか

ア. 家族との関わり イ. 多職種連携 ウ. 意思確認

エ. 本人との関わり

具体的に ()

各関係機関、専門職との連携

1. 救急搬送時、救急隊に伝えるべき情報は把握していますか。

はい・いいえ

2. 急変時の対応について多職種(医療・介護関係者)と情報を共有していますか。

はい・いいえ (理由:)

3.急変時の連携について、どのようなことが必要ですか。

()

4.急変時の連携で困ったことはありましたか。

はい(理由：)・いいえ

ACP(人生会議)について

1. ACP(人生会議)を知っていますか

はい・いいえ

2. ※1で「はい」と回答したかたにお尋ねします。

ACPの機会を本人や家族とつくっていますか。

はい・いいえ(理由)

3. ※2で「はい」と回答したかたにお尋ねします。

それを継続的に行っていますか。

はい・いいえ(理由)

3. 人生の最終段階(終末期医療)について本人や家族と話していますか

ア. タイミングがわからない イ. 死に関する話題を出しにくい

ウ. 利用者本人や家族が嫌がる エ. 必要性を感じていない

オ. 確認をしたことがないのでわからない

その他

1. 急変時の対応で、具体的に皆さんの困りごとを教えてください。

()